

立命館生協 衣笠キャンパス 留学生キャンパスツアー



[国際貢献]

取り組み概要

日時：3月31日、4月3日
 組合員の反応：
 とてもよかった 77%
 よかった 23%

- 概要：留学生に対して生協店舗を中心に施設紹介などを行った。学生委員と一緒にご飯を食べ、最後に記念撮影をした。
- 英語と日本語それぞれでのツアーを実施した。

コロナが明けて、増加した留学生に注目

POINT.1

英語と日本語でキャンパスを紹介



留学生キャンパスツアーは外国人留学生を対象としており、2日間それぞれで英語とやさしい日本語にわかれて交流を行いました。まず、全体で生協学生委員会と企画内容の説明を行いました。その後、生協店舗を中心にキャンパスを回りました。その中で、食堂の利用方法や教科書の購入方法の説明も行いました。また、ツアーの最後には実際に決済やチャージをして留学生に食事をとってもらいました。大学生協の使い方や魅力を2言語で易しく伝え、留学生のよりよい生活に向けたサポートが出来ていました。

POINT.2

留学生に向けた企画のニーズ

留学生は日本人学生とは異なる悩みを持っています。特に、新入生向け企画は日本語での実施が基本であるため、参加しづらい現状があることがわかりました。学生委員は、留学生の立場になりどのような取り組みをしたらその悩みを解決できるかを考えました。さらに企画後にも、この企画で出会った留学生との繋がりを大事にしてアンケートを取ることで、多くの留学生の悩みを知ることに意識を向けることが出来ていました。



POINT.3

取り組みへの想い



恒例の企画に留学生が参加されることが多く、留学生への対応をすべきだとは前から感じていたそうです。今回の取り組みを通して、国籍を問わずみんなが楽しめる企画を創ることが出来ていました。また学生委員だけでなく、学内の国際系の団体に協力してもらうために連絡を取り、事前打ち合わせを行いました。同じ理想を実現するために、他団体との連携ができています点が素晴らしいです。